

二戸市総合計画（案）の概要

二戸市総合計画策定の趣旨

市民が主体となり元気で生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるために、現在の総合計画を検証し、およそ30年後の本市の目指すべき将来像を描き、平成28年度を初年度とし10年間の行政運営の基本的方向性や政策を示す。

参考資料1

I なぜ新しい計画をつくるのか？

人口減少

- ・地域内需要の減少
- ・少子高齢化の進行

【現状】

- ・今後も人口減少が進行
H22年 29,702人(高齢化率は29.9%)
⇒ H52 18,820人(高齢化率43.7%) 社人研推計
- ・商店の減少、空き店舗の発生、地域防災力の低下、地域活動が困難など、「生活利便性の低下」「地域コミュニティの衰退」を招いている
- ・若者の雇用、子育てなど生活環境が厳しい

「地域の魅力・地域の競争力」が低下

人口減少は短期間で解決できる課題ではない

魅力(特徴)を活かし、市民とイメージを共有しながらまちづくりを進めるためには、中長期的な展望が必要

30年後の将来像(まちのイメージ)を考える「ワークショップ」などの開催

【視点】

市民の想いを実現するため、中長期的なまちづくりを進める

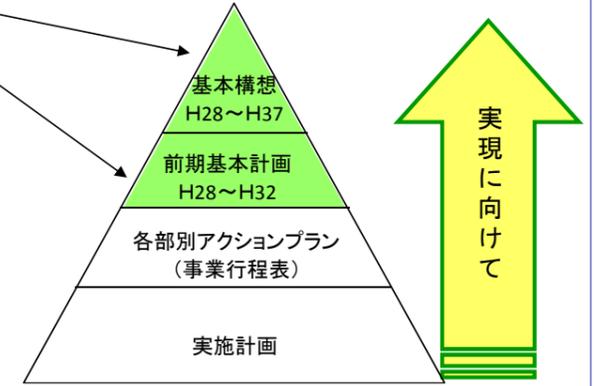
- ・人口減少とその影響を共有する
- ・市内各地域には魅力的な資源がある
- ・小中高生、若者、女性、高齢者も活躍している など

II 新しい総合計画の構成は？

住民の
想い・意見

30年後の将来像(みんなの夢)

30年後の将来像に向け
市民と行政と一緒に
まちづくりを
進めるための計画



III みなさんが想い描く30年後の将来像は？

共通イメージ

誇りや生きがいを感じ、「にのへ」の魅力を活かし、新しいことにチャレンジしながら、安心して暮らせる、住んでよかったと実感できるまち

【キーワード】

- ・働く場所があり安心して暮らせるまち
- ・地域の魅力を活かし新たなチャレンジが生まれているまち
- ・楽しく安心して子育てができるまち
- ・子どもが活躍できる教育環境、社会環境が整っているまち
- ・若者が集い、若者が活躍しているまち
- ・若者が住み続け帰ってくるまち
- ・お年寄りも健康で豊かな生活を楽しんでいるまち

みなさんの気持ち

人口減少は避けられない

まちの魅力も活力もなくなっていくかもしれない
市の予算も少なくなって施設整備にも時間がかかる

それでも、自分の子供や孫に
誇りや希望の持てる「にのへ」を伝えたい

そのためには「物質的な豊かさ」より
生きがいや安心といった「心の豊かさ」が
実感できるまちであって欲しい

IV 基本構想(H28~H37)

基本理念:計画全体の基本となる考え

キャッチフレーズ ⇒ 検討中

(人口減少が進む中で、人づくりと市民協働で、まち(地域)を次の世代に引き継ぐために、チャレンジしていくということを表現したいと考えています。)

○先人が培った「にのへ」を次世代へ ⇒ 「人づくり」と「市民協働」

- ・あらゆる分野で人が育ち、暮らしを支えるまち
- ・市民と行政が力を合わせて、暮らしやすさを追求するまち

まちづくりの方向性:10年間でどんなまちづくりを進めるのか

- 1 地域資源を活かした産業振興で雇用を創出する
- 2 出会い、結婚、出産、子育てしやすい環境をつくる
- 3 安全で安心して暮らせるまちをつくる
- 4 生活やまちづくりと連動した基盤整備を進める

※人口減少に立ち向かい、対応する(上記1~4の該当部分を再掲)

- 1 人口減少に歯止めをかける
- 2 人口減少に対応する

二戸市人口ビジョンの「将来に向けた基本的施策の方向性」と同じ

政策の体系:まちづくりを進めるための政策

【政策1】しごと・産業・交流

⇒ 産業振興、雇用創出、所得向上 など

【政策2】子ども・若者・女性

⇒ 子育て支援、女性の活躍、学力向上 など

【政策3】暮らし・安心・健康

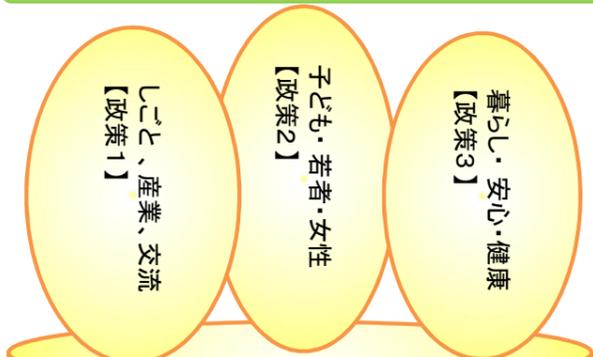
⇒ 健康推進、福祉増進、文化・スポーツ振興 など

【政策を支える土台・原動力】地域の力、行政の力、市民協働

⇒ 市民協働の推進、人づくりの推進、インフラ整備の推進 など

基本構想のイメージ

基本理念・まちづくりの方向性



【政策を支える土台・原動力】

政策を進めるための基盤・原動力
(地域の力、行政の力、市民協働)

V 前期基本計画の概要(H28～H32)

【政策1】 しごと・産業・交流 : 地場産業の成長で雇用を生み所得を上げる

○方向性

- ・付加価値の向上、多様な連携による産業振興と雇用創出
- ・地域外からの資金獲得と地域内循環による地域経済の活性化

○施策（主なもの）

- ・農業を経営する 所得を向上する
- ・若者としごと・求人と求職をつなげる
- ・物語とおもてなしで地域まるごと観光
- ・世界が認め、地域に根付く浄法寺漆
- ・ここにしかない良品を特別なブランドに
- ・エネルギー資源を生かした新しいまちづくり など

○主な取り組み（主なもの）

- ・価値を高めるため、新商品開発やブランド化など農商工連携や6次産業化等の経営多角化を推進
- ・地場企業の成長に向けて、事業継承や事業拡大、新部門創設に対し支援
- ・近隣市町村等と連携した観光商品づくりや情報の発信を推進
- ・観光、食産業等へ浄法寺漆を活用し、漆を生かした産業の拡大と交流人口の増加を推進
- ・特産品の品質を高め、どこにでも通用するブランドづくりを推進
- ・地元農産物の家庭、飲食店、事業者、福祉施設等での利用促進
- ・地域外へ流出していたエネルギーコストの地域内消費への転換促進 など

【政策2】 子ども・若者・女性 : 若者・女性がいきいき暮らし、子どもの声があふれる

○方向性

- ・子育ての経済的、精神的不安の低減
- ・「生きる力」を育む教育の推進
- ・郷土の魅力を伝え、郷土を愛する教育の推進
- ・世界で活躍する人材育成の推進

○施策（主なもの）

- ・若者が住みたい、戻りたいふるさと
- ・暮らしやすさがちょうどいい 二戸での暮らし
- ・出会い、お付き合い、結婚の縁結び
- ・子どもがいる幸せ 安心と喜びを感じる子育て
- ・一人ひとりの夢を育み、未来を拓く子どもの育成
- ・若者がまちをつくる 若者が集まる など

○主な取り組み（主なもの）

- ・若い世代が集まる機会を創出するとともに、若者が取り組むまちづくり活動を支援
- ・移住・定住希望者に対する支援
- ・婚活支援イベントや結婚推進イベントなどの開催支援
- ・保護者の視点からの子育て支援サービスの充実と経済的・精神的負担軽減の促進
- ・郷土に対する理解や愛着、誇りを育て、一人の人間として次代を担う人材を育成
- ・女性や若者が情報発信や交流などをしやすい活動拠点づくりを支援 など

【政策3】 暮らし・安心・健康 : 健康で安心できるまちで笑顔あふれる暮らし

○方向性

- ・低年齢からの予防啓発や高齢者の生きがいづくりによる健康寿命の延伸
- ・市民協働による防災体制の構築
- ・スポーツ、文化を通じた地域や世代を超えた多種多様な交流の創出

○施策（主なもの）

- ・若い時から健康な心と体づくり 健康寿命延伸への挑戦
- ・生きがいをもって地域に貢献する 活躍する高齢者
- ・日常生活の安全・安心を地域で守る
- ・歴史文化の薫るまち 歴史と伝統を引き継ぎ生かす
- ・芸術文化とスポーツで豊かな心と体を育む
- ・環境にやさしいまち ごみ減量に取り組むまち
- ・暮らしの足を確保 利用しやすい公共交通

○主な取り組み（主なもの）

- ・幼稚園、保育所、小学校と連携し、若い時からの生活習慣病予防の推進
- ・これまでの経験で高齢者が培った知識や技術を継承する取り組みの推進
- ・消防団協力事業所制度を活用するなど企業協力の推進
- ・地域づくりを支え合う連合的な地縁組織（小規模多機能自治）の導入検討
- ・史跡九戸城跡の保護及び周辺を含めた環境整備の促進
- ・市民が生涯にわたって自主的にスポーツに親しむ取り組みの推進

【政策を支える土台・原動力】 地域力・行政力・協働力 : みんなの力で満足度・幸福度・達成度を高める

○方向性

- ・あらゆる分野での人づくりの推進と中間支援組織の育成
- ・行政資源の有効活用と市民参加の推進
- ・生活に身近な社会基盤整備の促進

○施策（主なもの）

- ・市民と力を合わせて取り組む総合計画
- ・企業・団体・NPOなどの民間力を活かす
- ・未来を見据えた都市づくり 新しいまちを創造する
- ・スピード感のある対応 時代の流れに対応する市役所
- ・公共施設の再編と民間活用の推進
- ・にのへを売り込む 関わる人がどんどん広がる

○主な取り組み（主なもの）

- ・若者が意見を出し合いながらまちづくりについて考える機会をつくる
- ・市民が主体的に行うまちづくり活動の支援
- ・地域の実情を踏まえた計画的な道路整備の促進
- ・社会の状況に応じた組織・機構の見直し
- ・生涯学習や地域づくり活動を通じた地域を知るための取り組みの推進
- ・ふるさと納税やクラウドファンディングを活用したまちづくりの推進 など